４月３日　　**テーマ：非常によかった**

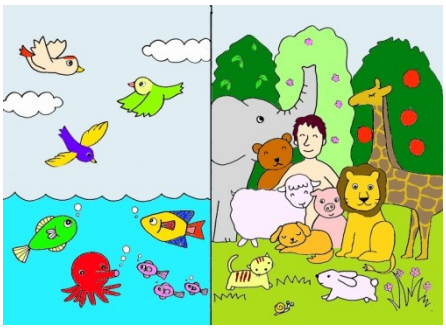
聖書箇所：創世記１章３１節

◆今日のみことば

「神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。夕があり、朝があった。第六日。」創世記１章３１節

◆メッセージ

「劣等感」という言葉を知っていますか。まわりの人と自分を比べて、「あー、自分はなんてダメなんだろう」とがっかりしてしまったり、自分を嫌いになってしまう心のことです。じつは、私たちはそのような劣等感を、みんなが持っています。「〇〇ちゃんと比べて頭が悪い」とか「〇〇君よりはやくはしれない」など。中にはがっかりしすぎて、自分には「生きている価値がない」と思いこんでしまう人もいるほどです。



創世記1章には、神さまがどのようにして天地のすべてを創造されたか、が書いてあります。天と地のすべてのものを、ひとつひとつ種類に従って、すばらしい存在として創造されたのです。神さまが創造されたすべてのものは、「非常に良かった」のです。

「でも、僕はそんなに良くないよ」と思いますか。それは、私たちの心に罪があるので、そのように思ってしまうのです。罪を持ったままの私たちは、ついつい人と自分を比べて、「勝った」「負けた」と競い合ってしまうのです。人と比べて勝ったので価値があるのでもなく、人と比べてダメな部分が多いので価値がないのでもありません。

神さまは私たち一人ひとりを「そのままで」愛し、受け入れてくださっています。私たちが神さまに愛されている存在だからこそ、神さまは私たちが罪のために滅びてしまわないように、とイエスさまを十字架に付けて、私の罪の身代わりとし、私の罪を赦してくださったのです。それほどに、もともとの私たち一人ひとりは、何ができなくても、人と比べて良いところがないように見えても、神さまが愛して下さっている存在なのです。

◆お祈り

「神様、私はついつい、自分と誰かを比べて、がっかりしてしまいます。でもそんな私を創造し、『非常に良かった』と言ってくださり、心から感謝します。」

（五日市聖書教会牧師　中尾信一）